

3 . 平成 1 9 年度予算の重点ポイント

安全安心を支える国土基盤づくり

1 . 豪雨災害対策の総合的な推進

天竜川 河川激甚災害対策特別緊急事業【国】 13.4 億円

平成 18 年 7 月豪雨により大きな被害を被った天竜川において、再度災害防止対策を実施します。

平成 19 年度は、築堤、護岸、河道掘削等を実施します。

事業箇所：天竜川（長野県伊那市・南箕輪村・箕輪町・辰野町）

事業期間：平成 18 年度～平成 22 年度

事業内容：築堤・護岸・河道掘削・根固工等

全体事業費：84 億円



天竜川右岸堤防の決壊（H18.7）

- | | | |
|----------------------------|---------|---|
| 宮川床上浸水対策特別緊急事業【国】 | 23.7 億円 | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">完成</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">新規</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">新規</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px;">新規</div> |
| 大谷川床上浸水対策特別緊急事業【岐阜県】 | 7.2 億円 | |
| 日光川水閘門大規模河川管理施設機能確保事業【愛知県】 | 1.0 億円 | |
| 今之浦川総合内水対策緊急事業【静岡県】 | 3.6 億円 | |
| 一般国道 19 号桜沢改良【国】 | 0.5 億円 | |

2 . 湯水への対応

木曾川水系連絡導水路事業【国】 14.6 億円

木曾川水系連絡導水路は、平成 19 年度に完成予定の徳山ダムで開発された都市用水と湯水対策容量に確保した水を揖斐川から長良川・木曾川に導水する施設です。日本一の総貯水量を有する徳山ダムの水を用いて、中部地方の安定した水資源の供給と河川環境の改善を可能とします。

平成 19 年度は、導水ルート確定及び周辺環境調査を実施します。

事業箇所：呑口）岐阜県揖斐郡揖斐川町

吐口）岐阜県加茂郡坂祝町

事業期間：（事業計画策定中）

事業内容：都市用水の補給

異常湯水時における緊急水の補給

全体事業費：約 900 億円



- : 木曾川水系連絡導水路による流況改善区間
- : 徳山ダムによる流況改善区間
- ➡ : 徳山ダム開発水の木曾川からの取水

- | | |
|--------------|---------|
| 設楽ダム建設事業【国】 | 19.0 億円 |
| 新丸山ダム建設事業【国】 | 30.3 億円 |

3. 東海、東南海・南海地震等対策強化の推進

由比地区地すべり対策事業【国】

15.0 億円

対策工の実施により地すべりの発生を防止し、家屋や日本の大動脈（東名高速道路、国道 1 号、JR 東海道本線）等を被害から守ります。

平成 19 年度は、工事用道路、横ボーリング工、集水井工を実施します。

事業箇所：静岡県庵原郡由比町

事業期間：平成 17 年度～平成 36 年度

事業内容：抑制工（横ボーリング工、集水井ほか）、抑止工（アンカー工ほか）

全体事業費：約 300 億円

地すべりと併発する
重要交通施設



道路震災対策事業【国・県・市】

「緊急輸送道路の橋梁耐震補強 3 箇年プログラム」により、平成 19 年度に管内約 1,000 橋の耐震化が概ね完了、被災時の円滑な救急・救助活動や緊急物資の輸送、復旧活動が図れます。

・直轄国道 約 700 橋

・県管理道路 約 300 橋（主要な防災拠点等を結ぶ優先確保ルート上の橋梁）

また、平成 19 年度は、中部の道路網の耐震性をさらに向上すべく、地域住民や他の道路管理者から寄せられる緊急時の道路情報をいち早く道路利用者へ提供するシステムについて検討を行うとともに、社会・経済活動の迅速な正常化を図るという視点で、より広範囲な道路橋の耐震補強計画を検討します。



耐震対策状況

名古屋港湾合同庁舎（別館）【国】

2.9 億円 **新規**

名古屋港湾合同庁舎に入居する、防災官署である第四管区海上保安本部および名古屋海上保安部を集約し、「防災拠点施設」として別館の整備を行います。

事業箇所：名古屋市港区

事業期間：平成 19 年度～平成 21 年度

施設概要：別館（新築）鉄筋コンクリート造

地上 9 階地下 1 階 延べ 5,200 m²

全体事業費：別館 15.6 億円



施設位置

衣浦港中央ふ頭西地区臨港道路整備事業【愛知県】 9.9 億円

清水港新興津地区防災緑地整備事業【静岡県】 1.9 億円

長島海岸高潮対策事業【三重県】 0.5 億円 **新規**

津松阪港海岸高潮対策事業【国】 14.7 億円

4. 交通事故対策の推進

交通事故対策事業【国・県・市】

交通死傷事故が多発している「事故危険箇所」について、平成 19 年度に管内直轄国道の全 155 箇所の事故対策を概ね完了させます。

愛知県においては、交通事故死者数全国ワースト 1 の返上を目標に、特に交差点周辺で死亡事故が多発している一般国道 1 号東三河地区等において重点対策を実施します。また、大型車の交通死亡事故が多発している一般国道 25 号名阪国道

では、「名阪国道の安全安心走行を考える懇談会」において利用者との意見交換会を通じ、道路の構造改良に加え、利用者の安全走行を促すための取り組みも検討・実施していきます。



「中部のげんき」を支える国土基盤づくり

1. 国際海上コンテナ輸送等の効率化

伊勢湾スーパー中枢港湾プロジェクト事業【国】

・名古屋港飛島ふ頭南地区国際海上コンテナターミナル 58.8 億円

コスト・サービスともに国際水準を視野においた国際物流拠点の形成を図るため、官民が一体となり次世代高規格コンテナターミナルの実現等を推進します。

また、岸壁（水深 16m）を含むコンテナターミナルについては、平成 20 年度中の供用開始を目指します。

平成 19 年度は、最終となる 2 スパン分のジャケットの製作・据付けに着手するとともに、引き続き栈橋上部工及び舗装工を推進します。

事業箇所：名古屋港飛島ふ頭南地区（愛知県海部郡飛島村東浜）

事業期間：平成 17 年度～平成 21 年度

事業内容：岸壁（水深 16m）400m、航路泊地（水深 16m）、荷役機械等
全体事業費：365 億円



名古屋港 飛島ふ頭南地区
国際海上コンテナターミナル

・四日市港霞ヶ浦北地区臨港道路（霞 4 号幹線） 14.1 億円

清水港新興津地区国際海上コンテナターミナル整備事業【国】 27.8 億円

多目的国際ターミナルの整備推進

・田子の浦港中央地区多目的国際ターミナル【国】 11.0 億円

・三河港神野地区多目的国際ターミナル【国】 5.5 億円

2. 国際水準の物流ネットワークの構築

名古屋圏環状道路の整備

・一般国道 475 号東海環状自動車道【国】 140.9 億円

・一般国道 302 号名古屋環状 号線【国】 133.3 億円

名古屋都市圏の骨格を形成するとともに、中部国際空港や伊勢湾スーパー中枢港湾等の主要な物流拠点へのアクセス性を高める名古屋圏環状道路の整備を推進します。

東海環状自動車道西回り区間の整備により、岐阜・三重間の連携軸の構築、四日市港へのアクセス強化等を図り、物流の効率化を支援します。また、東海環状自動車道沿線に立地するものづくり拠点の連携・融合を促し、新たな産業創出等ものづくり中部の基盤強化を支援します。



東海環状道自動車道 名古屋環状 号線

一般国道 23 号名豊道路【国】 252.8 億円 **7 工区新規**

名豊道路で唯一の未事業化区間であった蒲郡バイパス（7 工区）に平成 19 年度より事業着手し、名豊道路の早期全線開通に向け、全面的に事業を展開します。

名豊道路の全線整備により、中部国際空港をはじめ名古屋港、衣浦港、三河港等の物流拠点へのアクセス性を高め、中部地域のものづくり企業の競争力強化を支援します。また、物流交通と生活交通の分離を図り、三河地域における国道 1 号等の交通混雑の緩和、安全性の向上を図ります。



名豊道路

一般国道 1 号静清バイパス【国】 61.0 億円 **部分開通**

一般国道 23 号中勢道路【国】 67.0 億円 **7 工区、11 工区新規**

一般国道 473 号相良バイパス【静岡県】 5.0 億円 **新規**

一般国道 473 号金谷相良道路【静岡県】 24.0 億円 **開通**

一般国道 365 号員弁バイパス【三重県】 2.0 億円 **開通**

良好な環境、魅力ある暮らしを支える地域づくり

1. 拠点市街地の整備・魅力ある地域づくり

名駅四丁目 27 番地区優良建築物等整備事業【名古屋市】 1.5 億円 **完成**

名古屋都心部のさらなる活力・魅力の向上を図り、さらなる「にぎわい」を創出します。

事業箇所：名古屋市中村区

事業期間：平成 16 年度～平成 19 年度

構造規模：地上鉄骨構造、地下鉄骨鉄筋コンクリート造、地上 36 階地下 3 階建て、延べ床面積 49,000m²

主な用途：商業施設、学校、駐車場



名古屋駅周辺（H19.3 撮影）



完成イメージ

一般国道 19 号 名古屋市中区伏見地区自転車歩行者道整備【国】 3.9 億円 **完成**

公共施設等が集積し多くの歩行者や自転車が行き交う名古屋市中心部の伏見地区において、歩行空間のバリアフリー化、歩行者及び自転車交通の分離、荷捌き駐車場や自転車駐車場の設置を図り、安全安心な通行空間を整備します。

事業箇所：名古屋市中区

事業期間：平成 16 年度～平成 19 年度

整備内容：自転車歩行者道整備



自転車歩行者道整備イメージ

浜松地方合同庁舎【国】 15.0 億円

「浜松市シビックコア地区」(平成 10 年承認)において、国の中核施設となる浜松地方合同庁舎(平成 20 年度完成)の整備を継続します。

整備にあたっては、ワークショップを開催し、広く市民の意見を取り入れた計画としています。

浜松地方合同庁舎が整備されることで、官公庁街区が完成し、浜松市シビックコア地区の整備が大きく前進します。

事業箇所：浜松市中区

整備期間：平成 17 年度～平成 20 年度

整備内容：鉄骨造地上 11 階 地下 2 階 延べ 29,403 m²

全体事業費：52.4 億円



ワークショップ開催風景



「浜松シビックコア地区」官公庁街区整備イメージ図

岐阜駅西地区第一種市街地再開発事業【岐阜市】 3.0 億円

静岡駅前紺屋町地区第一種市街地再開発事業【静岡市】 53.0 億円

名鉄常滑線等連続立体交差事業(太田川駅付近)【愛知県】 20.0 億円

東静岡駅周辺土地地区画整理事業【静岡市】 1.1 億円

連続立体交差事業、土地地区画整理事業においては地方道路整備臨時交付金を除く。

2. 環境、自然、観光、景観

国営木曾三川公園【国】 8.9 億円 **一部開園**

愛知県江南市に整備中の「江南花卉園芸公園」は、ゆとりと潤いを実感できるみどり豊かな都市環境を創出します。また、災害発生時の避難地としての防災機能を併せ持った整備を実施します。

平成 19 年度は、クリスタルフラワー（仮称）等 6.9ha を開園予定です。

事業箇所：愛知県江南市

事業期間：平成 13 年度～

事業内容：花の庭ゾーン 11.6ha、河川敷ゾーン 19.7ha、
故郷の森ゾーン 7.7ha

全体事業費：約 73 億円



第 期一部開園区域の完成イメージ図

伊勢湾再生等プロジェクト

閉鎖性海域である伊勢湾において、平成 19 年 3 月に策定する「伊勢湾再生行動計画」に基づき、人と森・川・海の連携により伊勢湾再生の取り組みを推進します。

平成 19 年度関連事業：

- ・日光川下流域下水道【愛知県】 91.4 億円
- ・シーブルー事業等（三河湾における浚渫土砂を活用した覆砂等）【国、愛知県】 2.1 億円

健全な水・物質循環の構築



多様な生態系の回復



生活空間での憩い・やすらぎ空間の拡充



愛・地球博記念公園【愛知県】	22.1 億円	
遠州灘海浜公園【浜松市】	20.3 億円	
桑名歴史公園地区（まちづくり交付金）【桑名市】	14.0 億円	まちづくり交付金においては国費
天竜川座光寺・万年橋利用推進事業【国】	1.8 億円	完成
一般国道 23 号沿道環境改善事業【国】	33.1 億円	

3. 中山間地・半島部の道路ネットワークの整備

東紀州地域を結ぶ「命の道」づくりの推進

- ・近畿自動車道紀勢線（尾鷲北 IC(仮称)～紀伊長島 IC(仮称)）【国】 97.5 億円
- ・一般国道 42 号 熊野尾鷲道路【国】 80.9 億円 **部分開通**

自然災害に強く、より安全に通行できる「命の道」として三重県東紀州地域を支える近畿自動車道紀勢線、国道 42 号熊野尾鷲道路の整備を推進します。

熊野尾鷲道路の尾鷲南 IC（仮称）～三木里 IC（仮称）間（L=5.0km）が平成 19 年度に開通することにより、尾鷲市三木里地区の災害時の孤立化を解消するとともに、高次医療施設へのアクセス時間の短縮を図ります。



新八鬼山トンネル
（三木里坑口）

豪雨による
現道の被災状況

一般国道 158 号中部縦貫自動車道 高山清見道路【国】	50.5 億円	部分開通
一般国道 414 号伊豆縦貫自動車道 天城北道路【国】	13.1 億円	部分開通
一般国道 474 号三遠南信自動車道 飯喬道路【国】	90.0 億円	部分開通